

外来診療一覧

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
午前	曾我	穀内	中野	曾我 高群	秀嶋
午後	曾我	穀内	-	曾我	穀内

※ 午後は予約制となります。



科の紹介

神経内科では、パーキンソン病などの神経筋難病、脳卒中、てんかん、認知症、脳炎・髄膜炎、片頭痛などの治療を行っています。

力が弱くなった、歩きにくい、ふらつく、しびれる、ふるえる、頭が痛い、物忘れが多いなどの症状がある人は受診してみてください。



私が診ます!

医師紹介



曾我 文久 (そが ふみひさ)

役職

神経内科主任部長

専門分野

神経筋疾患

卒業年月

昭和56年3月

所属学会・  
資格など

- ▶ 日本神経学会専門医・指導医
- ▶ 大阪大学 臨床教授



高群 美和 (たかむれ みわ)

役職

神経内科部長

専門分野

神経内科一般

卒業年月

平成9年3月

所属学会・  
資格など

- ▶ 日本神経学会専門医・指導医



穀内 洋介 (こくない ようすけ)

役職

神経内科医長

専門分野

神経筋疾患

卒業年月

平成14年3月

所属学会・  
資格など

- ▶ 日本神経学会専門医
- ▶ 日本内科学会認定医



## 検査・治療案内

### ■ 実施している検査

- ▶ 画像検査
  - ▶ CT、MRI、MRA、脳血流シンチ(SPECT)
  - ▶ 頸部血管エコー
  - ▶ MIBG 心臓交感神経シンチ
- ▶ 生理機能検査
  - ▶ 針心電図、誘発筋電図(神経伝導速度)
  - ▶ 誘発脳波(聴性脳幹反応、体性感覚誘発電位)
  - ▶ 脳波
  - ▶ 重心動揺計検査

### ■ 実施している治療

脳血管障害、脳炎、髄膜炎、けいれん、意識障害などの急性神経疾患のほか、パーキンソン病、脊髄小脳変性症、筋萎縮性側索硬化症、多発性硬化症、重症筋無力症などの神経筋難病、てんかん、頭痛、しびれ、ふらつきなど広範な神経筋疾患の治療を行っています。

薬物療法としては、多発性硬化症に対する急性期ステロイドパルス療法、再発予防のためのインターフェロン治療、ギランバレー症候群に対する免疫グロブリン大量療法なども行っています。

神経内科では、当院が総合病院である特色を生かし、各診療科と連携して神経筋疾患の治療にあたっています。

脳血管障害治療では放射線科・脳神経外科と協力し、入院時に脳MRI、CT、MRAなどの画像検査を速やかに行い、病態に即した急性期治療を行う体制をとっています。また当院リハビリテーションセンター(50床)と連携し、早期リハビリテーションによる後遺障害の軽減と退院後の在宅調整を行っています。

パーキンソン病、脊髄小脳変性症、筋萎縮性側索硬化症などの神経変性疾患診療では薬物療法のみならず、リハビリテーションやかかりつけ医・訪問看護師・理学療法士との連携、在宅環境整備を行い、QOL(Quality of Life)の改善に努めています。

神経疾患進行期における嚥下障害に対してはリハビリテーションセンターと連携し、嚥下障害の評価、リハビリテーションを行い、必要に応じて、消化器専門医による内視鏡的胃瘻造設術を行っています。

### □ 実施していない検査

- ▶ 脳血管造影
- ▶ 神経生検検査
- ▶ 視覚誘発電位検査
- ▶ 遺伝子診断

神経筋難病で、神経筋病理検査、遺伝子診断などの特殊検査が必要な場合及び診断が困難でセカンドオピニオンを得たい希望がある場合は、大阪大学医学部附属病院神経内科などに依頼、紹介しています。

### □ 実施していない治療

- ▶ 脳梗塞症における血管内治療、t-PA治療

脳梗塞の発症から6時間以内であって、t-PA治療・血管内治療の適応症例は、国立循環器病センター脳血管内科または大阪大学医学部附属病院脳卒中科に依頼する方針にしています。